

井の国歴史懇話会報

VOL14

発行：井の国歴史懇話会事務局 発行日 平成 29 年 1 月 1 日



直虎さん全国区の年を迎えて

新春おめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

一昨年八月に発表されたNHK大河ドラマ「おんな城主直虎」が、いよいよ一月八日を皮切りに放映が始まります。一年間五十回の放映が、NHKの電波に乗り全国津々浦々に届けられます。

井の国に生まれ、井の国に育ち、井伊領の領主となり、幼い直政を立派に育て、滅亡寸前の名門井伊氏を見事に再興するドラマ、無事円成を念じております。

何より嬉しいのは これまで浜松市民にも意外に知られていなかった井の国井伊氏の存在、その歴史が、楽しく広報されることです。「おんな城主直虎」はドラマであります。ドラマと史実がどのように織りなし進展しているのか、会員の皆様にはそうした視点で鑑賞下さることをお話し、年頭の挨拶をいたします。



直平・直虎ゆかりの里川名

川名は、ひよんどりの祭文に「井の山七合」とあるように、井伊城の聳える三岳山の北麓七合目にある井伊家の要害の地であります。直平の墓地や菩提寺、直虎の寄進した梵鐘もあったと伝えられるゆかりの地であります。

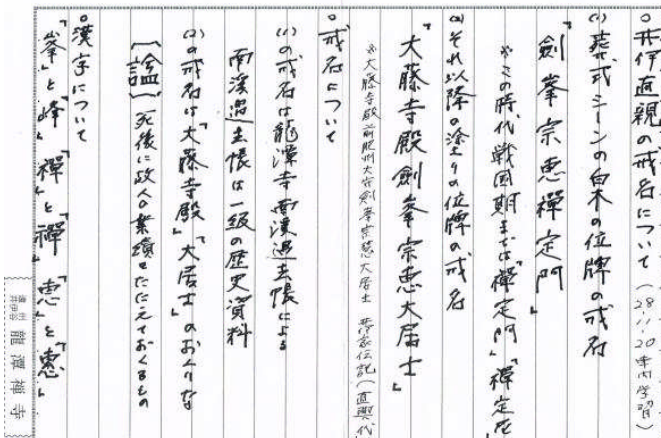
井の国歴史懇話会一行は、直平・直虎の供養祭と小和田先生の講演会の行われる川名を目指して、早朝よりマイクロバスを走らせました。伊平から廻り廻ってついた川名は、山上に開けた小盆地で、井伊谷を思わせる静かな隠れ里でした。

溪雲寺で開かれた「井伊直平・直虎供養、大河ドラマ成功祈願祭」はこの村の芝切層の系譜を引く大禰宜、小禰宜が居並ぶ厳肅な雰囲気の中で始まりました。



現地研修・講演 「波乱万丈の井伊家」 ～直平から直虎まで～

11月20日、NPO法人かわなの里ほぐせんぼ主催のイベント参加に先立ち車中で会長より戒名についてのレクチャーがありました。



「さんこさいへいさいはいと慎み敬って申す 今来る月は霜月廿日 溪雲寺のご縁日 広き御前を押し開き 七重の簾(すだれ)八重の戸帳を巻き上げ これより東は東三 東海道 引佐の郡(こおり)井の山七合 中にも取り分け此の御村と申すは福祥の所なり」と始まる川名のひよんどりの祭文が井伊家の末裔大禰宜の上野氏によって読み上げられ、追善供養と大河ドラマの成功祈願がされました。倒れた直平の遺体を馬に乗せて川名まで運び、殉死した大

石作左衛門の末裔や直平の墓守を続ける向山さんの焼香があり、すっかり直虎の頃にタイムスリップしていました。

今は姿をとどめない直虎寄進の梵鐘には「広大な地にあるすべての生きとし生けるもの瑠璃の宮殿にあっても格別に何事もない。日々時を知らせる百八の鐘の音色は穏やかである」と記されていました。戦乱の真ただ中にあってもなお穏やかな胸中でいた直虎の心の声をゆかりの地川名で聞くことができたのは何よりの収穫でした。

井伊直貞が大檀那になって造営した薬師如来やひよんどりの古面、古文書の特別公開もされました。これも研究されている小和田先生が同席された学術公開の機会に遭遇できた機会なればこそと思ひ、感慨ひとしおでした。



午後からは、静岡大学名誉教授小和田哲男先生の「波乱万丈の井伊家～直平から直虎まで～」の講演が行われました。南北朝の争乱に敗れ、更に今川と斯波氏との戦いにも敗れ、今川の配下で息子や孫にまで先立たれながらも井伊家を守り通した直平の激動生涯を熱く語ってくれました。人質として今川に差し出された娘の子どもが築山御前となった先生の研究成果に聴衆は心を引かれていました。大河ドラマの時代考証を担当する先生の口からこぼれる話題にいつしか「おんな城主直虎」の世界にいるようでした。

小和田先生と供養祭から昼食、講演会まで親しく席を同じにし、直平や直虎の活躍した川名で様々な体験のできた掛け替えのない一日でした。これも井の国歴史懇話会に所属していたからできた体験だと感謝しながら井の国七合の川名を下って行きました。



28年度の予定 (敬称略)

2月13日(月)

- ・現地研修 「ぐるっと浜名湖涅槃図めぐり」
涅槃図の権威竹林史博師と行く(湖北直虎の里)
集合 8:40 龍潭寺駐車場 15:30解散予定
会費 3000円
コース 晋光寺・妙雲寺(昼食)・天白磐座遺跡
・宗良親王御陵参拝・正雲寺(順不同)

* 竹林氏と語る会(希望者のみ)

館山寺 さざなみ館 会費6000円

上記2企画の参加可否は同封のハガキにて

* 29年度の総会は例年より遅くなる予定です。

地域の企画ご案内

- ・NHK金とく「謎解き紀行！ 女城主直虎(仮題)」
1月27日(金)20:00～20:45 放映
- ・2月14日(火)
「ぐるっと浜名湖涅槃図めぐり」(湖南)
涅槃図の権威竹林史博師と行く
集合 新居町地域センター 9:00 解散15:30
参加費 3000円 (ぼくめし・涅槃団子含む)
コース 東福寺・神宮寺・龍谷寺・本果寺・応賀寺
主催 新居町在住 鈴木芳朗
申し込み 柴田宏祐

053-439-5585(FAXのみ)

先着10名

